

市町村名	名護市					
令和5年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	2-④	21世紀の森公園周辺エリア活用推進事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ	
担当部課名	企画部 政策推進課	事業実施(予定)年度	令和3年度～令和5年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	多彩かつ質の高い観光の推進 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	令和2年度に策定した名護湾沿岸基本計画に示している「21世紀の森公園周辺エリア」の取組として、名護湾沿岸の資源を活かした魅力向上のアイデアの実現可能性を探るため、令和3年度、4年度にトライアル・サウンディング及びマーケットサウンディングを実施し、官民連携手法(Park-PFI等)の導入を想定した公募対象公園施設及び特定公園施設の範囲や規模等の検討及び民間事業者の事業性の確認し、令和5年度に公募設置等指針の策定及び公募設置等予定者の選定を行い、基本協定を締結する。					
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和7年度)					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R3年度	R4年度	R5年度	R5年度(繰越)	R6年度
	(a)当初予算額	12,887	13,492	13,193		
	(b)予算現額	12,887	12,938	15,691		
	(c)増減額(b-a)	0	▲554	2,498	0	
	(d)繰越額	0	0	0	15,667	
	A.計(b+d)	12,887	12,938	15,691	15,667	
	B.執行済額	12,331	12,111	24	15,653	
	うち交付金充当額	9,864	9,688	19	12,523	
	次年度繰越額	0	0	15,667	0	
	執行率(%) (B/A)	95.7%	93.6%	0.2%	99.9%	
予算の状況の説明	事業者ヒアリングや関係機関との調整などに不測の日数を要し、追加での調整会議等が必要となったため、委託料について、増額を行った。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)	達成状況				
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	「21世紀の森公園周辺エリア」におけるP-PFIによる事業者公募、事業者選定、協定締結等の実施	目標 トライアル・サウンディングの実施	トライアル・サウンディングの実施	P-PFIによる事業者公募、事業者選定、協定締結等の実施		
		実績 トライアル・サウンディングの実施	トライアル・サウンディングの実施	P-PFIによる事業者公募、事業者選定、協定締結等の実施		
		目標				
		実績				
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・21世紀の森公園周辺エリア活用推進事業 公募設置等指針の策定及び公募を行った。</li> <li>・公募設置等予定者の選定を行った</li> <li>・基本協定の締結を行った。</li> </ul>					
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)	基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(令和7年度)
	「21世紀の森公園周辺エリア」におけるP-PFIによる事業者公募、事業者選定、協定締結等の完了	目標 ( )	( トライアル・サウンディングの実施 )	( トライアル・サウンディングの実施 )	( P-PFIによる事業者公募、事業者選定、協定締結等の完了 )	( )
		実績	トライアル・サウンディングの完了	トライアル・サウンディングの完了	P-PFIによる事業者公募、事業者選定、協定締結等の完了	
		目標	( )	( - )	( - )	( )
		実績				
【R7成果目標】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園来訪者数:415,000人</li> <li>・公園来評者の満足度の向上割合:3.4%</li> </ul>					
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年10月中旬～令和6年1月中旬:公募設置等指針の公表及び応募期間</li> <li>令和6年2月上旬:公募設置等予定者の選定</li> <li>令和6年11月上旬:基本協定の締結</li> </ul>					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>公募設置等指針の内容確定に向けて、マーケットサウンディングに参加して頂いた方々から公募設置等指針(案)について、ご意見を頂くヒアリング調査を実施し、対面、WEB、書面によるヒアリングを7社から行った。 公募設置等計画に係る応募が3団体あり、2団体から公募設置等計画の提出があった。</p>	<p>施設整備に向けて引き続き、関係機関と連携を図りながら実施に取り組む。</p> <p>【R7年度】 (公園来訪者の満足度:3.4%)(公園来訪者数:415,000人) ・市の観光振興計画で目標としている満足度90%の実現に向け、来訪者のニーズに沿った施設整備を行う。</p>
	<b>今後の取り組み方針</b>	
<p>名護湾沿岸基本計画における他エリアの整備等もあるため、関係機関と調整を図りながら、円滑に事業を実施し、同エリアが、市民や来訪者で賑わう空間となるよう努める。 (R5)事業者公募、事業者選定、協定締結 (R6)工事着手 (R7)供用開始</p>		

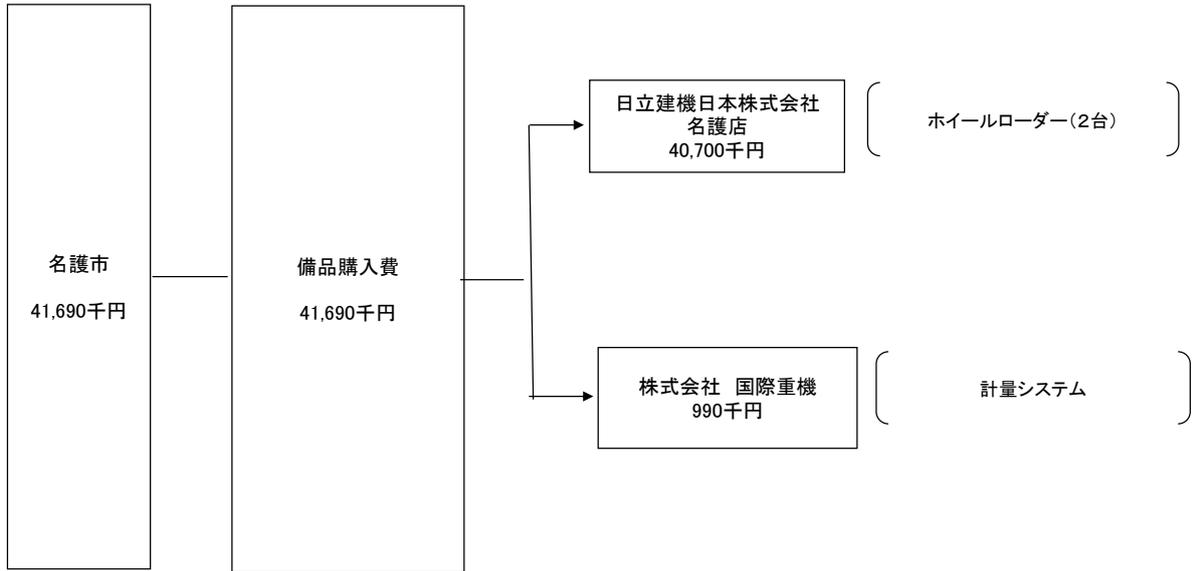
資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)													
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th> <th>交付対象事業費</th> <th>交付金充当額</th> <th>市町村負担金</th> <th>交付対象外経費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15,677</td> <td>15,677</td> <td>12,542</td> <td>3,135</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	15,677	15,677	12,542	3,135	0	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費									
15,677	15,677	12,542	3,135	0									
	<pre> graph LR     A[名護市 15,677千円] --&gt; B[委託料 15,653千円]     A --&gt; C[報償費 22千円]     A --&gt; D[旅費 2千円]     B --&gt; E["(株)オリエンタルコンサルタンツ沖縄支社 15,653千円"]     C --&gt; F["個人(2名) 22千円"]     D --&gt; G["個人(1名) 2千円"]     E --- H["21世紀の森公園周辺エリア 活用推進事業業務委託"]     F --- I["選定委員会委員の報償(2人)"]     G --- J["選定委員会委員の交通費(1人)"]           </pre>												
資金の流 点れ、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明										
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は地方自治法施行令第167条の2第1項第2号のに基づく随意契約により選定しており、妥当であると考えている。										
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、事業目的を達成するため必要な委託費等であり、適正であった。										
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。										
○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	名護市						
<b>令和5年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
事業番号・事業名	4-②	地域循環型農畜産業推進事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(7)-ア	
担当部署名	農林水産部 園芸畜産課	事業実施(予定)年度	令和5年度	沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の強化 Ⅲ-1-(6)		
事業内容	地域循環型農畜産業の推進を図るため、名護市堆肥センターの堆肥原料受け入れ体制及び堆肥生産力の向上のため、ホイールローダー(2台)及び計量システムを導入する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和7年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R5年度	R5年度(繰越)	R6年度	R7年度	R8年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	58,597				
		(b)予算現額	42,350				
		(c)増減額(b-a)	▲16,247	0			
		(d)繰越額	0	40,700			
		A.計(b+d)	42,350	40,700			
	B.執行済額		990	40,700			
	うち交付金充当額		792	32,560			
	次年度繰越額		40,700	0			
	執行率(%) (B/A)		2.3%	100.0%			
予算の状況の説明		ホイールローダーの入札残が生じたため、16,247千円を3月補正で減額した。 また、ホイールローダーの製造に必要な半導体等の資材不足などにより、製造に不測の日数を要したため、ホイールローダー購入費にかかる40,700千円を繰越した。 計量システムの入札残が生じたため、660千円の不用額が発生した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	ホイールローダー導入(2台) 計量システム導入	目標	ホイールローダー導入(2台)、計量システムの導入				
		実績	ホイールローダー導入(2台)、計量システムの導入				
			目標				
		実績					
達成状況説明	令和5年度に計量システムの納品が完了した。 ホイールローダー(2台)については、繰越し令和6年度に納品が完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R5年度	R6年度	R7年度	目標値(R7年度)
	年間堆肥原料受け入れ量 9,994t	目標	( )	( 9,994t )			( 9,994t )
		実績		10,355t			
	年間堆肥販売量 3,436t	目標	( )	( 3,436t )			( 3,436t )
		実績		2,311t			
進捗状況説明	R5年度に事業を完了し、R6年度に後年度発現の効果を検証予定だったが、繰越したため、R7年度に検証することとした。 原料受け入れ量については、目標の9,994tに対し、実績10,355tとなり約103%の達成率となった。 堆肥販売量については、目標の3,436tに対し、実績2,311tとなり、約67%の達成率となった。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)	
取組の検証	(年間堆肥原料受け入れ量) ・令和6年度は、前年の約1.3倍ほどの汚泥の受け入れがあったため、目標を達成できた。しかし、原料受け入れ数量に対し、販売量が伸びていないため、過大な受け入れ状況となっている。	(年間堆肥原料受け入れ量) ・製品の製造状況も確認しながら、原料の受け入れの調整を行う。	
	(年間堆肥販売量) ・既存設備、機械の老朽化による故障などが発生したことで作業に遅れが生じたことや、今回導入のホイールローダー(2台)も、令和7年1月末の納品となり、2月からの稼働となったため、製品製造販売が計画的に実施できなかった。	(年間堆肥販売量) ・新設ホイールローダーの活用による作業の効率化向上と、機械、設備のメンテナンスを徹底し、計画的かつ安定的な堆肥製造販売量の増加に繋げる。	
今後の取り組み方針			
(年間堆肥原料受け入れ量) ・指定管理者へ、製品製造の状況を確認しながら、計画的に原料の受け入れを行う様、調整を行っていく。			
(年間堆肥販売量) ・指定管理者へ、機械、設備のメンテナンスの徹底を行わせるとともに、指定管理者と堆肥製造販売量の増加に繋がる販売方法等について、検討を行っていく。			

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
41,690	41,690	33,352	8,338	0



資金の流れ、点検、評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○指名競争入札を実施しており選定方法は妥当であると考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、入札残により不用額が生じたが、事業者からの見積を参考に仕様内容に応じて積算しており、適正な規模であったと考えている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し必要なものであったと判断した。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	名護市						
令和5年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	11	名護市周遊バス推進事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-1-(1)-ウ		
担当部署名	まちなか再開発・公共交通課	事業実施(予定)年度	5年度	沖縄振興基本方針該当箇所	次世代型交通環境の形成 Ⅲ-9-(1)		
事業内容	持続可能で安定した公共交通の提供及び観光客の利便性向上を図るため、コミュニティバスを導入し、市内の周遊促進に向けた環境を整備する。						
効果発現年度	■当年度      ■後年度(7年度)						
実施方法	■直接実施    ■委託    ■補助    □負担    □その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R5年度	R5年度(繰越)	R6年度	R7年度	R8年度	
	(a)当初予算額	167,857					
	(b)予算現額	153,772					
	(c)増減額(b-a)	▲14,085	0				
	(d)繰越額		152,862				
	A.計(b+d)	153,772	152,862				
	B.執行済額	910	108,913				
	うち交付金充当額	727	87,131				
	次年度繰越額	152,862	0				
	執行率(%) (B/A)	0.6%	71.2%				
予算の状況の説明	EVバス用充電設備整備に伴う整備箇所について、施設管理者との調整に不測の日数を要したことにより、年度内では委託費のEVバス用充電設備配線引込等設計業務のみ完了し、その他の旅費、工事請負費、備品購入費にかかる166,947千円を繰越した。 当初想定していた整備箇所が変更になったことにより、工事請負費の24,040千円が執行残・不用額となった。備品購入費は、購入時のシステム構築等を最小限にとどめたことにより、26,541千円が執行残・不用額となった。また、協議会運営補助金は、執行しなかったことにより1,000千円全額不用額となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)	達成状況					
		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度		
	・バス車両の購入(2台) ・充電設備の整備(1機) ・キャッシュレス決済システムの構築・導入(2台分)	目標	購入・整備構築・導入				
		実績	購入・整備構築・導入				
	・地域公共交通協議会の開催(4回) ・バス事業者との協議	目標	4回開催協議				
	実績	4回開催協議実施					
達成状況説明	2台のバス車両を購入し、車両の充電設備も整備することができた。キャッシュレス決済システムもバス車内に構築・導入することができた。バス事業者と路線バスルートとの競合や接続地点等、利便性の向上に向けた協議を行うことができた。運営補助金は執行していないが、地域公共交通協議会を年度内で4回開催した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)	基準値(R4年度)	R5年度	R6年度	R7年度	目標値(R7年度)	
	・EVバス車両の購入 ・充電設備の整備	目標	( ) ( ) ( ) ( ) ( )	購入整備			( )
		実績	/	購入整備			/
	・キャッシュレス決済システムの導入 ・公共交通協議会の開催	目標	( ) ( ) ( ) ( ) ( )	導入開催			( )
		実績	/	導入4回開催			/
	利用者へのアンケート調査:満足度80%以上	目標	( ) ( ) ( ) ( ) ( )	-			(80%以上)
		実績	/	-			/
	両地域への入域客数の増(対前年度比):屋我地域15%増、二見以北地域36%増	目標	屋我地域8,829人、二見以北地域2,862人	( ) ( ) ( ) ( ) ( )			屋我地域11,616人、二見以北地域3,883人
		実績	/	-			/
	進捗状況説明	成果目標であるEVバス車両の購入、充電設備の整備、キャッシュレス決済システムの導入、公共交通協議会の開催、全てを達成することができた。 後年度目標である利用者の満足度の向上や地域への入域客数の増加については、今後、調査や実績確認を行い、達成度について確認を行う。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	路線バスのルートを主としながら、地域の現状や観光施設等も含め、来訪者・地域住民等の利便性が向上する運行形態を構築しなければならない。 路線バスと利用者の奪い合いとならないよう、ダイヤを検討しつつ、他路線と結節するバス停での乗り継ぎも念頭におきながら検討を行う。	地域の意見を反映させつつ、観光施設や観光拠点へのアクセス、買い物、病院への通院、学校への通学を全て網羅して検討を行うことにより、地域住民だけでなく、来訪者も利用できる新たな路線が形成することができる。
今後の取り組み方針		
屋我地地域及び二見以北地域において、本事業で購入した車両を活用し、期間を限定したコミュニティバスの実証実験を実施する。 実証実験実施後は、利用実績等の分析を行い、本格運行に向けた手続き等を進めていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)																	
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th> <th>交付対象事業費</th> <th>交付金充当額</th> <th>市町村負担金</th> <th>交付対象外経費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>109,823</td> <td>109,823</td> <td>87,858</td> <td>21,965</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	109,823	109,823	87,858	21,965	0					
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費													
109,823	109,823	87,858	21,965	0													
名護市 109,823千円	旅費 157千円	EVバス中間検査旅費															
	委託費 2,175千円	(株)真建 910千円 (株)アカネクリエーション 1,265千円	EVバス用充電設備配線引込等設計業務委託(その2) バス車両ラッピング製作及びラッピング施工業務委託														
	工事請負費 11,633千円	(有)北部通信建設 11,633千円	EVバス充電設備等整備工事(その2)														
	備品購入費 95,858千円	(株)EVモーターズ・ジャパン 75,660千円	EVバス売買契約 車載搭載機器売買契約														
		沖縄モバイルクリエイト(株) 14,575千円															
沖縄ICカード(株) 3,025千円		名護市コミュニティバスキャッシュレス決済機器(OKICA) 売買契約															
(株)小田原機器西日本営業所 1,624千円 (有)エイ・ケイ・システム 974千円		コミュニティバス用マルチ決済端末売買契約 バスロケーションシステム機器売買契約															
<b>資金の流れ点検評価</b>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>点検項目</th> <th>評価に関する説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>支出先の選定方法は妥当か。</td> <td>○備品購入は、仕様を満たしていることや県内の事業者が1者しかないなどの理由から、随意契約となった。</td> </tr> <tr> <td>△</td> <td>予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。</td> <td>○予算規模は、当初の想定より執行残・不用額がでたことにより、65.2%の執行率となった。</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>受益者との負担関係は妥当であるか。</td> <td>○費目、用途については、目的に即し、必要なものであった。</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価	点検項目	評価に関する説明	○	支出先の選定方法は妥当か。	○備品購入は、仕様を満たしていることや県内の事業者が1者しかないなどの理由から、随意契約となった。	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、当初の想定より執行残・不用額がでたことにより、65.2%の執行率となった。	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については、目的に即し、必要なものであった。	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		
評価	点検項目	評価に関する説明															
○	支出先の選定方法は妥当か。	○備品購入は、仕様を満たしていることや県内の事業者が1者しかないなどの理由から、随意契約となった。															
△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、当初の想定より執行残・不用額がでたことにより、65.2%の執行率となった。															
—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については、目的に即し、必要なものであった。															
○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。																